

店舗面積約5万㎡(SC全体)の上質な都市型SCとして“ペリフェリーライフ”を提案

『柏高島屋ステーションモール新館』

平成20年10月1日(水)開業、導入店舗が決定

東神開発株式会社

高島屋の子会社で商業ディベロッパーの東神開発株式会社(本社:東京都世田谷区/代表取締役社長:國原浩)は、柏高島屋ステーションモール(千葉県柏市)の増築棟『柏高島屋ステーションモール新館(以下、新館)』の開業日を10月1日(水)とし、51店の導入店舗を決定いたしました。()

51店以外で、開業日以降にオープンする店舗もございます(詳細は後日発表)。

当SCは、都心まで約30分の距離にあり、都会でも郊外でもない都市工学で言うところの都市のエッジ“ペリフェリー”に位置しています。コアターゲットは、近隣6市を中心にしたエリアに住む、都会の感性と郊外の安らぎを同時に求めるトレンドに敏感な女性(20代後半から30代)。新館を開業し、心地よい刺激に満ちた専門店を集積することで、既存のS館・T館を合わせたSC全体で、都会が持つ情報性と、郊外の安らぎの両面を併せ持つライフスタイル、“ペリフェリーライフ”を提案します。

新館は、地下2階・地上12階の建物の3階から12階を店舗として使用。店舗面積は約7,000㎡、柏駅直結の既存館とペDESTリアンデッキや連絡ブリッジで接続し、回遊性を高めます。SC全体の店舗面積は約50,000㎡となり、常磐線・東武野田線沿線では最大級の駅直結型SCが誕生します。

今回の新館開業では、感度の高いファッション店舗(トレンド性の高いレディスファッションとメンズ・レディス複合店を充実)の強化と、大人が集う専門性の高い飲食店の導入を行ないます。また、SC内の回遊性を高めるとともに、ゆっくりSC内を過ごすためのショッピング空間の提供と、駅前景観の向上を目的とした環境作りを強化いたします。

店舗構成としては、3階～6階は、トレンドエッセンスをフロアコンセプトに、高感度で個性あふれるファッション・雑貨の専門店を導入。優雅で洗練されたヨーロッパアンスタイルを提案する【UNITED ARROWS(4階)】を始め、クオリティにこだわった大人の女性のためのセレクトショップ【エリオポール(5階)】や、モダンとクラシックが対になる要素のリミックスが人気の【DOUBLE STANDARD CLOTHING(6階)】、リラックス感溢れるナチュラルなファッションスタイルを提案する【carlife(6階)】などが出店します。

7階はアメリカを中心に世界中からセレクトしたカジュアルセレクトショップ【FREAK'S STORE(7階)】など、個性派ブランドから定番まで幅広いジャンルのカジュアルファッションを集積します。8階のナチュラルなライフスタイルを提案するフロアには、日々の暮らしを豊かにする斬新なアイデアを提案する【私の部屋(8階)】や、毎日の生活のスパイスになるようなインテリア雑貨を提案する【アバウトアガールバイ フランフラン(8階)】を導入。

9階～10階の機能性を重視したレストランゾーンには、ピザやパスタを始め本格料理も揃うカジュアルイタリアンの新業態【Pizzeria VENTO(9階)】や、「野菜を丸ごとおいしく食べる」をコンセプトにした和ダイニング【やさい家めい(10階)】など、バラエティーに富んだ食を提案する店舗を導入。また、11階は大人の上質な食空間を提供するフロアとして、京の旬素材を使った京都情緒を堪能できる【京菜処 かつくら京都三条(11階)】などを導入し、新館のレストランゾーンとしては全14店舗の飲食店が入ります。

最上階12階のビューティーゾーンには、エステサロンやヘアサロン、ネイルサロンなどが入店し、光溢れる空間で女性をトータルにサポートするフロアとなります。

当SCでは、2007年より既存館においてもエントランスの改修や、高感度・上質な専門店の導入を行なっておりますが、今春から秋にかけても更にリニューアル店20店舗・新規店15店舗を導入することにより、新鮮な売り場作りを推進してまいります。また、顧客サービスの向上として新館地下1・2階の駐車場ではヴァレーパーキングを導入いたします。

新館の開業により、利便性が高く心地よい刺激に満ちた“上質な都市型SC”として進化することで、更なる顧客ロイヤリティの向上を目指します。

【周辺環境とターゲット】

商圏はつくばエクスプレス開通により茨城南部に大きく広がり、商圏人口は近隣6市(柏市、松戸市、流山市、野田市、我孫子市、取手市)を中心に、約100万人の商圏人口を有します。本年4月には柏市が中核市に指定され、近隣の宅地開発も活発になり柏市の人口も増加傾向にあります。さらに、1人あたりの所得水準が全国レベルを上回る恵まれたマーケットであるとともに、商圏に多く居住する「団塊ジュニア世代」が30代となるなど顧客の成熟化が進み、消費スタイルの多様化も見られます。

このような商圏の中、自分のライフスタイルにこだわりを持った、トレンドに敏感な女性(20代後半から30代)をコアターゲットに、都会的で洗練された感性と、郊外の安らぎの両面を併せ持つライフスタイル、“ペリフェリーライフ”を提案します。

【MD・フロアコンセプト】

衣・美・食・住をキーにした“ペリフェリーライフの提案”をコンセプトに、「トレンドエッセンス」、「カジュアルエッセンス」、「ナチュラルスタイル」など、自分のライフスタイルにこだわりを持った、トレンドに敏感な大人が求める専門店で構成しています。利便性の高さと心地よい刺激に満ちた感度の高さを兼ね備えた、都会に行かなくても十分満足できる“日常の都心”を提案します。

フロア	コンセプト	内容
12階	セルフトリートメント	女性をトータルにサポートするビューティーゾーン
9～11階	ダイニングストリート	11階:大人の空間を楽しむ本格的なダイニングゾーン
		10階:健康的な日常の食卓をおいしく提案するゾーン
		9階:カジュアルにも使える高感度ダイニングゾーン
8階	ナチュラルスタイル	生活雑貨、趣味雑貨を複合した時代に流されない個性とストーリーを持ったショップを集積。新しいナチュラルライフスタイルを提案
7階	カジュアルエッセンス	個性派ブランドと定番ブランドをミックスした、柏発の新しいモードカジュアルスタイルを提案
3～6階	トレンドエッセンス	柏エリアでNo.1のトレンドを発信する高感度ゾーン。メンズ・レディスともに、ベーシックなリアルクローズやインポートモードファッションなど、上質で個性あふれるショップを集積

【環境デザイン】

建物外壁は、光を取り込むやわらかな雰囲気を作り出すプロフィットガラス(特殊な断面をもった溝型ガラス)を採用。新館の開業を機に、既存のS館の外壁も改修し、デザインを統一させることにより、西口駅前の景観向上に配慮しました。夜には建物全体を光のベールが覆い、柏のシンボリックな夜景を演出します。

内装は、モダンヨーロッパアンティストと上質感をキーワードに、主役である店舗を際立たせるデザイン。フロア毎に異なったデザインテーマを設けたパブリックスペースを設置し、お客様に交流の場を創出します。柏駅直結の既存館とは3階のペDESTリアンデッキ、外光が直接入り込む開放的な4階・7階の連絡ブリッジで接続し、快適にショッピングや食事をお楽しみ頂けます。



「柏高島屋ステーションモール新館」
外観パース



「柏高島屋ステーションモール新館」 パブリックスペースパース

【 概 要 】

敷地概要

所在地：千葉県柏市旭町1-5-1 他

敷地面積：2,216 m² (約 670 坪)

施設概要 (予定)

建築面積：1,700 m² (約 515 坪)

延床面積：19,300 m² (約 5,840 坪)

店舗面積：7,000 m² (約 2,100 坪)

規 模：地上 12 階 地下 2 階

(地下 1・2 階：駐車場他、1 階：りそな銀行、2 階：駐輪場、3～12 階：店舗)

投資額：約 70 億円 (用地取得関連含む)

事業者：東神開発株式会社、株式会社りそな銀行 他

賃借人：東神開発株式会社

着 工：2006 年 7 月

柏高島屋ステーションモール 概要 (新館開業後)

延床面積：106,800 m²

面 積：【内訳】 S 館 (ステーション館)	53,400 m ² (地下 1 階 地上 8 階)
T 館 (高島屋館)	34,100 m ² (地下 3 階 地上 8 階)
新館	19,300 m ² (地下 2 階 地上 12 階)

店舗面積：50,810 m²

面 積：【内訳】 S 館 専門店	16,300 m ²	} 27,510 m ²
S 館 高島屋 T X	8,650 m ²	
T 館 高島屋	18,860 m ²	
新館 専門店	7,000 m ²	

柏高島屋ステーションモールの沿革

- 1973 高島屋柏店開店
- 1979 高島屋柏店と専門店からなる駅ビル「柏ローズタウン」がオープン。
衣料・雑貨・飲食店などの専門店 102 店が揃う。
- 1992 「柏ローズタウン」が全面リニューアルし増床、百貨店(高島屋柏店)を核とした
S C (ショッピングセンター)として「柏高島屋ステーションモール」がオープン
- 1999 開業 20 周年リニューアル。全店舗のうち約半数を新規導入・リニューアル
- 2002 「柏高島屋ステーションモール」開店 10 周年
- 2006 年 7 月 新館着工

東神開発株式会社 概要

会社名：東神開発株式会社

所在地：東京都世田谷区玉川 3-17-1 〒158-8502 TEL 03-3709-0121(代)

設立：1963年12月28日

資本金：21億4千万円

株主：株式会社高島屋

事業内容：ショッピングセンターの開発、運営管理

不動産の賃貸借、売買とその仲介など

事業所：玉川事業本部（玉川高島屋ショッピングセンター 東京都世田谷区玉川 3-17-1
〒158-8502）

柏事業本部（柏高島屋ショッピングモール 千葉県柏市末広町 1-1 〒277-8550）

シンガポール事業本部（シンガポール高島屋ショッピングセンター 391 Orchard Road
#04-20E ニーアンシティ 238872）

首都圏事業部（東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-24-2 タイムスクエアビル 〒151-8580）

関西事業部（大阪府大阪市浪速区日本橋 3-5-25 高島屋東別館
〒556-0005）

【この件に関する報道関係の方のお問合せ先】

柏高島屋ショッピングモール(東神開発株式会社)	宣伝PR担当 萩原・天野	TEL:04-7148-2100	FAX:04-7148-2208
東神開発株式会社 経営管理本部	会社広報担当 舟竹	TEL:03-3708-6614	FAX:03-3709-4345
柏高島屋ショッピングモール広報事務局	落合・高橋・高田	TEL:03-5413-4551	FAX:03-3403-0508